

ちいさなヒッポ

マーシャ＝ブラウン 作
うちだりさこ 訳



偕成社 1984年 1200円

小さなかばのヒッポは、いつもおかあさんと一緒です。大きなかばのおかあさんのそばにいれば、ヒッポはこわいものなしです。おかあさんに「グアオ」とほえかたを教わったヒッポは、ある日大きなわににつかまってしまいます。水辺の動物たちの姿が、力強い版画で描かれています。かばの親子の愛情が、迫力ある絵から伝わってきます。

つきよのおんがくかい

山下洋輔 文
柚木沙弥郎 絵
秦好史郎 構成



福音館書店 1999年 1200円

満月の日に、こうちゃんがやまにのぼると、楽器を持ったクマ、ウマ、ネコ、イヌに出会います。「The Moon Light Jam session」と表紙にあるとおり、画面いっぱいにはひろがるジャズのリズムに「イエーイ」とうさぎたちが踊りだします。ジャズ・ピアニストでもある山下洋輔の、独特の擬声語が、迫力のある絵とともに、画面いっぱいにはひろがります。

ティッチ

パット・ハッチンス 作・絵
いしいももこ 訳



福音館書店 1975年 1100円

ティッチは3人きょうだいの末っ子です。にいさんとねえさんは大きな自転車を持っているのに、ティッチには小さな三輪車しかありません。にいさんたちに比べてティッチの持っているものは小さなものばかりです。ところがティッチが持っていた小さなたねをうえると…。小さなティッチの、得意げな様子が、子ども達に深い満足感をあたえます。簡潔な文章と、明るい色のはっきりしたイラスト風の絵が、軽やかな絵本です。シリーズは「きれいずきティッチ」があります。